



# にこにこ しまねっこ



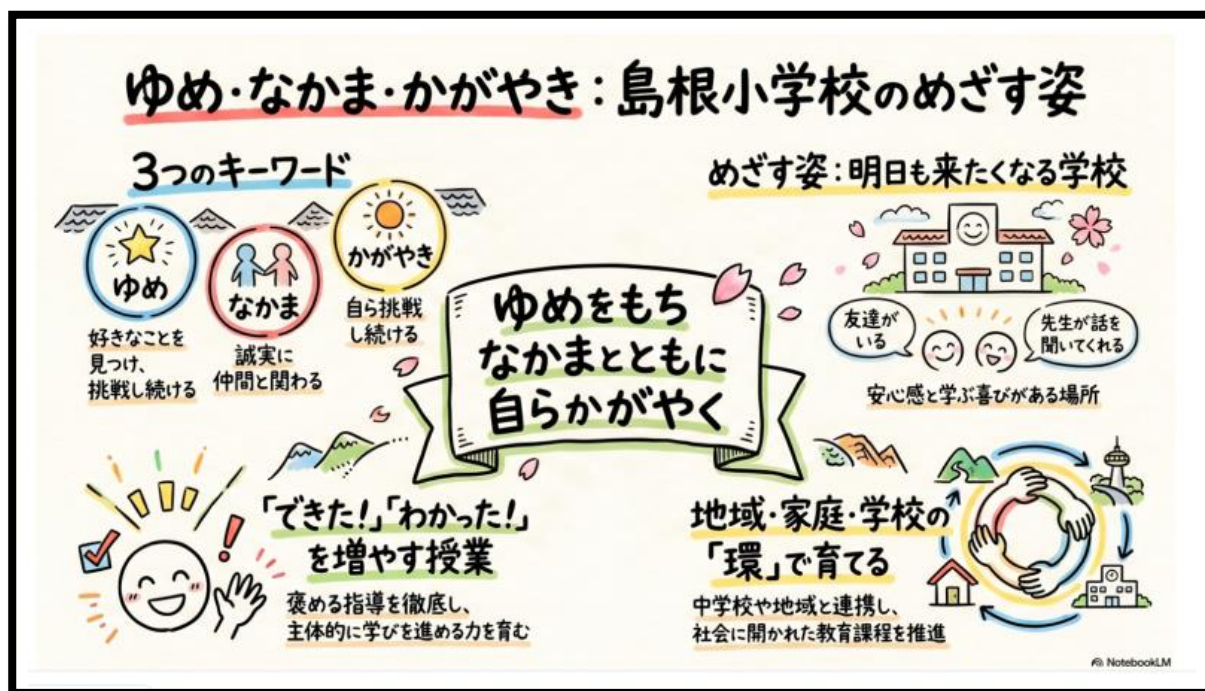
島根小HPへ

No.2 R8.5.22

ゆめ なかま かがやき

## 令和8年度 学校経営方針について

4月30日(木)に行った授業公開・PTA 総会・学級懇談には、多数お出かけいただき誠にありがとうございました。PTA 総会の場で今年度の学校経営の方針について簡単にお話しをさせていただきました。改めて、今年度の学校経営について紹介します。



上記のスライドは、PTA 総会の時に見ていただいたものの一部です。ここでは、明記できていませんが、今年度の学校経営の重点事項は以下の2点としました。

### ① 自尊感情の育成

・「できていること」を褒め、「できること」を一つ一つ増やすことを心がける

### ② 学ぶ楽しさが実感できる授業の創造

- ・子ども達が「できた」「わかった」「やってみたい」と感じることでできる授業の工夫
- ・「自分達で学びを進められる力」の育成



2つの重点事項は昨年度から継続しているものですが、子ども達の実態から継続して取り組むこととしました。

昨年度、4年生以上の学年では、「算数チャレンジプリント(3年生までの学習内容を中心とした学習プリント)」に継続的に取り組みました。子ども達に基礎学力の定着を図ることを目的とした取組でしたが、その中で次のような子どもの姿が見られました。

### ① 「わかりたい」という思いが見えた事例

朝、私(校長)と A 先生は正門で子どもたちの登校の様子を見守っています。2月のある朝、いつものように子ども達が登校の様子を見守っていると、ある子が A 先生に「先生、あの問題の解き方わかったよ!」と、話しかけていました。A 先生にはチャレンジプリントの丸付け等をお願いしているので、子ども達

が問題にどのように解答しているのかをよく理解していただいています。その子とは、問題の解き方について前日にいろいろと話をされ、「どうやって解いたらいいか、家で考えておいで。」と伝えられていたのだと思います。

学校から帰り、家でもその問題に取り組み、ついに解き方を理解できた時、とても大きな喜びや気持ちよさを感じ取ることができたのでしょう。A先生にそのことを報告している姿は、本当にうれしそうでした。

## ② 「できるようになりたい」という思いが見えた事例

こども達にとって、学校で一番好きな時間は休憩時間ではないでしょうか(少なくとも私はそうでした)。

しかし、その休憩時間にも、自らすすんでチャレンジプリントを直したり、分からないところを教えてもらったりする子がいました。遊びに行きたい気持ちもあるはずなのに、「教えてもらいたい。」「できるようになりたい。」という気持ちが強かったようです。そして、できなかったことができるようになって、とても喜んでいただいていたという話も聞きました。

この二つの事例から、改めてこども達は「わかりたい」「できるようになりたい」という気持ちをもっていることを感じるとともに、重点事項として取り上げてきたことの成果を感じることができました。

チャレンジプリントの取組では、「ここまでではできている・理解できている」ということを伝えて自信を持たせ、間違えたところも「どのように間違えているのか」をこども達が聞くことができる体制を整えて行ってきました。

地道な取組ではありますが、基礎的な課題について「できるようになった」「わかるようになった」というこども達が増えたと感じています。「できた」「わかった」の次にある「やってみたい」という思いをもつこども達の姿を実感するところまでは至りませんでしたので、これについては継続して取り組みたいと考えました。

なお、重点事項の②に『自分達で学びを進められる力』の育成』を新たに加えました。

本校のように小規模の学校は、こども達一人ひとりの実態をとらえやすいというよさがあります。反面、こども達に任せてもよいところまで教員が手をかけてしまい、こども達の成長の機会を奪ってしまうこともあります。

『自分達で学びを進められる力』の育成』を言い換えるとすれば、「教師がこども達の力を見取り、任せられるところについてはこども達を信じてやらせてみよう」ということであり、「こども達の主体性を伸ばす取組」とも言えます。このことは、学習だけでなく様々な行事、縦割り班活動等においても取り組みたいことです。

素直でやさしい島根小のこども達が、さらに力をつけていけるよう、皆様のご協力を得ながら教育活動に取り組んでまいります。どうぞ、よろしくお願いいたします。

---

## 今年度、以下の変更を行っています

---

児童数の減少や教職員の働き方改革に伴って、以下の変更を行っています。

○月曜日、全校5時間授業にしました。

- ・週の初日を5時間にして、上学年のこども達にも放課後ゆとりをもたせました。
- 職員会議を30分早め、放課後の業務時間を確保します。

○チェリー班(縦割り班)の数を2つ減らして、10班にしました。

- ・児童数が88名となったことから、縦割り班の数を減らしました。

○運動会の色分けを3から2にしました。

- ・こちらも児童数が88名になったことから、赤組と青組の2色で競う形にしました。
- 1つの色の担当教員の数を増やし、負担軽減につなげます。

○5時間授業の児童の下校にも対応したスクールバスの運用を始めました。

- ・島根中学校の時刻の見直しに伴い、16時便を14時便に変更することができました。これにより、5時間授業の児童でスクールバスを利用する場合、バス待ちの時間を解消することができました。
- バス待ちの子の様子を見守る教員が不要になりました。